

積土のう工法



～目的～

堤防等の低い場所や洪水などで沈下した場所に土のうを積むことで、水が堤防を越えてしまわないようにする工法です。水の力で崩れる恐れがあるので、土のうを一段積むごとに合わせ目や土のうとの間に土を詰めて締め固め、安定させるために支え杭を打ちます。